

文教関係
(教育委員会)

事業名	事業費	説明	明
小 学 校 整 備	18億7,682万5千円	宇品小学校校舎増築 (スケジュール) 26・27年度 実施設計、増築工事 28年度 増築工事	5億3,132万6千円
	財源内訳 〔 国庫負担金 7,906万9千円 国庫補助金 1億1,964万8千円 市債 11億3,890万円 一般財源 5億3,920万8千円 〕	校舎耐震化対策 耐震補強工事実施設計等 1 校 似島学園 改築工事 1 校 本川 空調設備整備 設置工事 7 校 舟入、皆実、大町、伴南、大塚、 五日市中央、楽々園 プール整備 移転改築 1 校 原 (スケジュール) 26・27年度 用地取得、実施設計等 28年度 改築工事 福祉環境整備 1 校 身体障害者用便所設置	4,412万円 600万円 3,812万円 6億3,441万8千円 1億9,724万6千円 1,080万円

事業名	事業費	説明
		下水道本管接続 1校 781万5千円 戸山 一般整備その他 4億5,110万円
中学校整備	8億1,293万8千円 財源内訳 〔 国庫補助金 5,422万3千円 市債 5億1,080万円 一般財源 2億4,791万5千円 〕	校舎耐震化対策 7,088万円 耐震補強工事実施設計等 1校 300万円 似島学園 改築工事 1校 6,788万円 宇品 空調設備整備 1億2,764万3千円 設置工事 2校 江波、安佐南 天井等落下防止対策 1億9,710万円 改修工事 18校 戸坂、早稲田、二葉、段原、宇品、己斐上、古田、城南、安佐、高取北、大塚、落合、可部、亀山、清和、日浦、船越、五日市南 プール整備 1校 1億7,565万5千円 砂谷（新設） （スケジュール） 25～27年度 用地取得、造成工事等 28年度 新築工事

事業名	事業費	説明	明
		福祉環境整備 1校 身体障害者用便所設置 下水道本管接続 1校 戸山 一般整備その他	1,000万円 536万円 2億2,630万円
高等学校整備	8億8,292万1千円 財源内訳 〔 県負担金 1億8,997万円 市債 5億600万円 一般財源 1億8,695万1千円 〕	校舎耐震化対策 耐震補強工事 1校 広島商業 新しいタイプの高校整備 県立及び市立の定時制・通信制高校を、県市共同で、従来の定時制・通信制課程の枠に捉われない新しいタイプの市立高校に再編整備する。 (スケジュール) 26・27年度 基本・実施設計等 28年度 建設工事 29・30年度 建設工事等 (債務負担行為の設定)	8,180万円 4億1,282万1千円

事業名	事業費	説明
		天井等落下防止対策 2億8,400万円 改修工事 6校 舟入、広島商業、広島工業、沼田、安佐北、美鈴が丘 一般整備その他 1億430万円
特別支援学校整備	700万円 財源内訳 〔 一般財源 700万円 〕	一般整備
幼稚園整備	3,350万円 財源内訳 〔 一般財源 3,350万円 〕	一般整備

事業名	事業費	説明
知・徳・体の調和のとれた教育の推進	3億5,156万2千円 財源内訳 〔国庫補助金 3,620万円〕 県補助金 1,600万2千円 一般財源 2億9,936万円	「ひろしま型カリキュラム」の推進 1億7,068万6千円 小学校5年生からの「言語・数理運用科」や「英語科」を柱とする「ひろしま型カリキュラム」を市立の全小・中学校で実施し、言語と数理の運用能力の向上を図る。 中学校デジタル教科書の活用 345万7千円 生徒に数式、図形、グラフの概念、仕組みなどを分かりやすく教えるため、全ての市立中学校の数学の授業において指導者用デジタル教科書を活用する。 中学校への英語指導助手の配置 3,702万4千円 ネイティブ・スピーカーから直接生きた言語を学ぶことにより、積極的にコミュニケーションを図る態度や身近な話題についての理解、簡単な情報交換や表現ができる英語能力の育成を図るため、中学校に英語指導助手を配置する。 学力・体力向上プロジェクト事業の推進 589万5千円 学力向上推進事業 379万5千円 児童生徒の一人一人の課題に応じたきめ細かな指導や学力補充などを計画的に行うとともに、小・中学校が連携し、9年間を見通した系統的な取組等を実施することにより、児童生徒の学力の向上を図る。

事業名	事業費	説明
		体力向上推進事業 210万円 体力向上推進校における授業改善や体育授業の質の向上を図るための研修会等を実施することにより、児童生徒の体力の向上を図る。 道徳教育推進事業 1,643万2千円 規範性をはぐくむ教育の充実 35万3千円 道徳教育実践研究校を指定し、地域の先人の伝記等を題材とした指導方法の工夫改善に取り組む。 「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開プロジェクト” 1,600万2千円 推進校の小学5年生を対象に、3泊4日の集団宿泊活動を実施し、児童の自立心や主体性、コミュニケーション能力の育成を図る。 広島グッドチャレンジ賞の実施 7万7千円 定期的な地域清掃活動、福祉施設でのボランティア活動の継続など、社会や地域に貢献した中学生や生徒会等を表彰する。 特別支援教育におけるタブレット端末の活用 913万1千円 特別支援教育において効果が認められるタブレット端末の導入・活用を促進する。 台数 37台→107台

事業名	事業費	説明
		不登校等対策ふれあい事業 1億893万7千円 ふれあいひろば推進員が不登校や不登校傾向にある児童生徒に対して、学校内外で相談活動等を行う。
いじめに関する総合対策	(3億1,875万2千円)	「いじめは決して許されないことであり、また、どの学校でも、どの子どもでも起こりうるもの」という認識のもと、以下の取組を継続し、いじめ対策に万全を期す。
(1) いじめの未然防止	2,105万8千円	家庭、地域、学校が連携し「いじめを生まない風土」を醸成
	財源内訳 〔一般財源 2,105万8千円〕	「みんなで語ろう！心の参観日」の実施 279万5千円 各学校において外部講師（心の先生）を招へいした道徳の授業を公開し、その内容について、児童生徒や保護者・地域住民が意見交換を行う。 まちぐるみ「教育の絆」プロジェクトの実施 1,600万円 プロジェクト実施校の学校協力者会議にコーディネーターを配置し、家庭・地域による教育支援活動や体験活動、学校による地域貢献活動の企画・調整を行い、様々な取組を実施する。 実施校 8校→16校 いじめ防止対策推進審議会等の運営 226万3千円

事業名	事業費	説明
(2) 認知したいじめへの適切な対応	2億9,688万1千円 財源内訳 〔 国庫補助金 8,212万1千円 一般財源 2億1,476万円 〕	早期発見・早期対応の強化 小学校の生徒指導体制の強化 2,588万5千円 いじめの早期発見・早期対応を行うため、小学校に生徒指導主事を配置するとともに、いじめ発生のおそれがある重点対応校30校に生徒指導主事を補助するための非常勤職員を配置する。 スクールカウンセラーの配置 2億1,570万1千円 小、中、高等学校及び特別支援学校にスクールカウンセラーを配置し、いじめの早期発見・早期対応の強化を図る。 スクールソーシャルワーカーの配置 3,384万6千円 社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、問題を抱える児童生徒等の支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめの早期発見・早期対応の強化を図る。 配置人数 8人→12人 生徒指導支援員の配置 2,144万9千円 問題行動を起こす児童生徒や学校への支援を行う生徒指導支援員を配置し、いじめの早期発見・早期対応の強化を図る。

事業名	事業費	説明
(3) 教職員の資質向上	81万3千円 財源内訳 〔 一般財源 81万3千円 〕	小学校教育指導主事の集中研修 校内の生徒指導体制の充実を図るため、全小学校教育指導主事を対象として、年間30時間の集中研修を実施する。
平和教育の推進	117万9千円 財源内訳 〔 一般財源 117万9千円 〕	中学生による「伝える HIROSHIMA プロジェクト」の実施 中学3年生の中からメッセージ発信者を選考し、8月6日に平和記念公園を訪れた海外の人々に対して、英語で平和へのメッセージを伝える。
全国高等学校総合体育大会開催	9,568万5千円 財源内訳 〔 一般財源 9,568万5千円 〕	平成28年度全国高等学校総合体育大会の開催（広島市開催分） 時期 28年7月26日～8月20日 主催 全国高等学校体育連盟、岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、各競技会場地市町村ほか 種目 水泳（競泳）、バスケットボール、サッカー、ボクシング、アーチェリー 会場 広島市総合屋内プール、広島県立総合体育館、エディオンスタジアム広島、中区スポーツセンター、コカ・コーラウエスト広島スタジアムほか

事業名	事業費	説明
小学校跡施設を活用した中山間地域の活性化	489万2千円 財源内訳 〔 財産運用収入 4万8千円 〕 〔 一般財源 484万4千円 〕	小河内小学校跡施設を拠点とした地域協力活動を進めることにより、地域の活性化に取り組む。 地域おこし協力隊の配置 401万6千円 配置人員 1人 任用期間 28年4月～29年3月 (最長30年11月末まで再任用可) 地域協力活動の実施 87万6千円 ①交流活動拠点としての小学校跡施設の運営 ②住民が主体となって策定する跡施設活用計画の策定支援 ③跡施設で開催されるイベントの企画・立案

事業名	事業費	説明
私学助成	16億2,126万7千円 財源内訳 〔 国庫補助金 5億321万9千円 一般財源 11億1,804万8千円 〕	私立幼稚園就園奨励費補助 15億965万7千円 保護者の経済的負担の軽減及び就園率の向上を図るため、入園料及び授業料の一部を助成する。 私立幼稚園振興事業補助 5,009万3千円 教職員研修費、教材教具整備費、協会事務費 私立幼稚園特別支援教育研究事業補助 42万2千円 研究事業に要する経費 私立中学校振興事業補助 162万6千円 教職員研修費、教材教具整備費 私立高等学校振興事業補助 4,757万2千円 教職員研修費、教材教具整備費 私立高等学校部活動パワーアップ事業補助 1,143万7千円 大会出場引率旅費、指導者招へい費、指導教員研修費 外国人学校振興事業補助 46万円 教職員研修費

事業名	事業費	説明
家庭・地域社会・学校の連携強化	3,705万5千円	子どもの安全対策推進事業
	財源内訳	
	〔 国庫補助金 587万6千円 一般財源 3,117万9千円 〕	「子ども安全の日」事業の実施 630万5千円 毎月22日を「子ども安全の日」とし、学校や家庭、地域で様々な取組を実施する。
		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 1,763万円 地域学校安全指導員による学校巡回指導や学校安全ガードボランティアへの指導・助言を行う。
		公立幼稚園における緊急通報装置の運用 168万5千円
		登下校体制整備 356万6千円
		新小学1年生への防犯ブザーの支給
		見守り・巡回活動 255万4千円
		「こども110番の家」事業 33万1千円 設置数 1万3,390か所
		児童生徒の自己防衛意識の高揚 442万4千円 小学校全クラスでの「安全意識啓発マップ」の作成、小・中学校教員への研修の実施

事業名	事業費	説明
		子どもを守るまちづくりの推進 56万円 保護者・地域の意識啓発や、校長等のリスクマネジメント能力向上のための講演会の開催などを行う。
青少年の育成・成長支援	5,208万1千円 財源内訳 〔 国庫補助金 53万5千円 〕 〔 一般財源 5,154万6千円 〕	10（テン）オフ運動の推進 37万3千円 「夜9時以降はスマートフォン等による送信はしない」、「遅くとも夜10時までには電源を切る」、「家族で話し合ってスマートフォン等の使用に関するルールをつくる」という10（テン）オフ運動を展開する。 少年サポートセンターひろしまの運営 5,170万8千円 非行防止対策の総合的かつ効果的な施策を推進するため、市教育委員会職員と県警察職員が常駐する少年サポートセンターひろしまを運営する。

事業名	事業費	説明
子どもの居場所の確保	9億355万7千円 財源内訳 国庫補助金 1億3,784万9千円 県補助金 6,572万3千円 市債 3億8,420万円 負担金 93万4千円 一般財源 3億1,485万1千円	児童館の整備 5億2,478万4千円 新設 3億6,818万4千円 中島児童館 1億8,200万円 場 所 中区加古町 (スケジュール) 27年度 地質調査、実施設計 28年度 建設工事 29年度 開設 緑井児童館 1億7,600万円 場 所 安佐南区緑井四丁目 (スケジュール) 27年度 地質調査、実施設計 28年度 建設工事 29年度 開設 広瀬児童館 1,018万4千円 場 所 中区広瀬町 (スケジュール) 28年度 地質調査、実施設計 29年度 建設工事 30年度 開設

事業名	事業費	説明
		耐震化・大規模修繕 1億5,660万円 新耐震基準施行前に建設された児童館について、30年度までに耐震化対策等を実施することとし、新たに工事に着手する。 耐震診断 8館 1,720万円 耐震補強工事実施設計等 11館 3,240万円 耐震補強・大規模修繕工事 4館 1億700万円 放課後児童クラブの増設 1,421万7千円 定員不足が生じている楠那学区において、プレハブの設置によりクラスを増設する。 開設時期 28年7月 民間放課後児童クラブ運営費補助 3億5,581万6千円 学校施設の活用等による放課後児童クラブの増設が困難な地区において、民間事業者に対する補助を行い、クラスの大規模化、過密化への対応を図る。 25学区 27クラブ

事業名	事業費	説明
		⑨ 民間放課後児童クラブ施設整備費補助 456万円 広島光明学園放課後児童クラブ 実施主体 社会福祉法人広島光明学園 場 所 東区牛田本町六丁目 (スケジュール) 28年度 建設工事 29年度 建設工事、移転開設 ⑨ 放課後児童クラブ職員等専門研修 418万円 広島広域都市圏内の市町と連携し、放課後児童クラブ及び児童館の職員等に対する専門研修を実施する。